

mlmp2023a.dotx 記載要領

[1] 陸上移動局・携帯局 免許・変更・再免許申請書

この様式は「陸上移動局」(ML)、「携帯局」(MP)、「船上通信局」(MB)、「構内無線局」(LO)で、無線設備が技術基準適合証明等を受けた機器または型式検定合格機器による免許申請、変更申請(届)、再免許申請の電子申請に使用します。

無線設備の常置場所を管轄する総合通信局に提出します。

再免許申請時に「無線局事項書、工事設計書の添付を省略」することができます。

事項書の添付が不要であれば saimen2023a.dotx を利用してください。

[2] 陸上移動局等様式の選択と初期設定

スタートメニュー(またはデスクトップ)の「電子申請サポートシステム new」―「新規作成」フォルダに保存されている様式の mlmp2023a.dotx を開きます。メニューの起動の仕方は、「各様式共通の記載要領」を参照してください。

(1) 「初期設定」タブ ― 「初期設定」

最初に宛先通信局を選択してから、新規(免許申請)か変更(変更申請)かを選択し、局種を「ML」「MP」「MB」「LO」から選択してから「実行」ボタンをクリックします。

初期設定には「再免許」はありません。自分でプルダウンを選択してください。

ユーザーメニュー

文書 1
mlmp2023a.dotx(様式) mlmp2023a.dotx(テンプレート)

初期設定 データチェック・入力 テキスト その他

初期設定

☒ 新規 ☒ ML
☐ 変更 ☐ MP
☐ ☐ MB
☐ LO

「初期設定」は入力を開始する前に一度だけ実行してください。
すでに入力されているものに対しては実行する必要はありません。

実行

ページ

現在の構成

かがみ無線局事項書
工事設計書

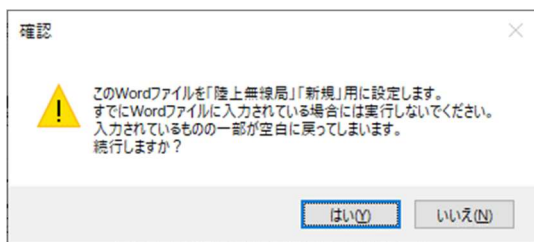
追加 削除 検証

☒ 事項書+工事設計書

閉じる

Version 1.1.20

次のような警告が表示されたら確認して「はい」ボタンをクリックします。



設定が終わったら次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



(2) 「初期設定」タブー「ページ」フレーム

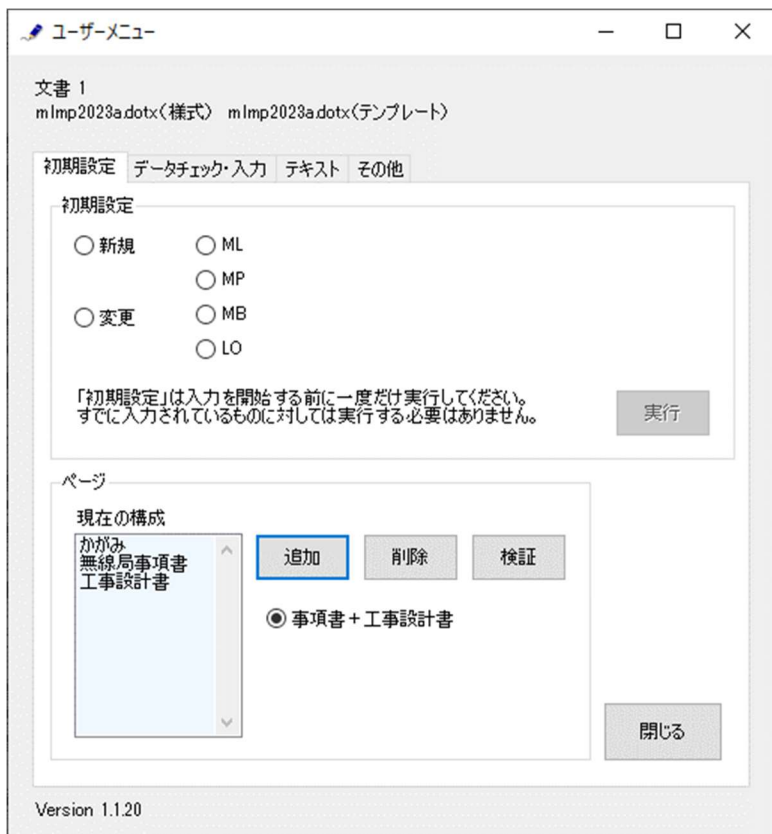
「ページ」フレームには、「現在の構成」として、「かがみ」に始まって、現在存在する「無線局事項書」「工事設計書」がページ数分表示されています。

基地局等は、「無線局事項書」「工事設計書」で1つのセットとなっています。

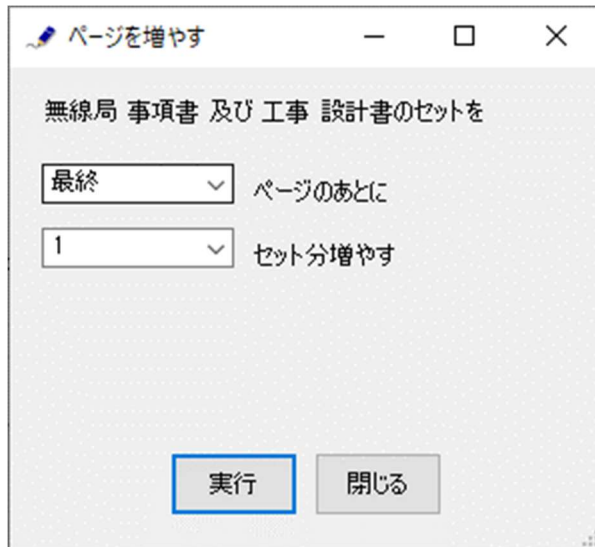
「追加」ボタンで「無線局事項書+工事設計書」のセットを増やすことができ、「削除」ボタンで減らすことができます。「検証」ボタンで現在の Word 文書のページ構成を取得しなおします。

(3) 追加する場合

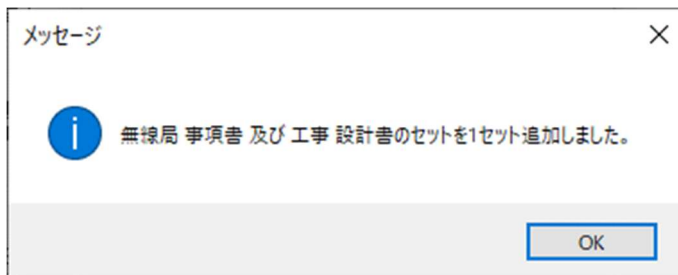
「追加」ボタンをクリックします。



無線局事項書を増やす位置を「ページのあとに」で指定し、追加するセット数を「セット分増やす」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。

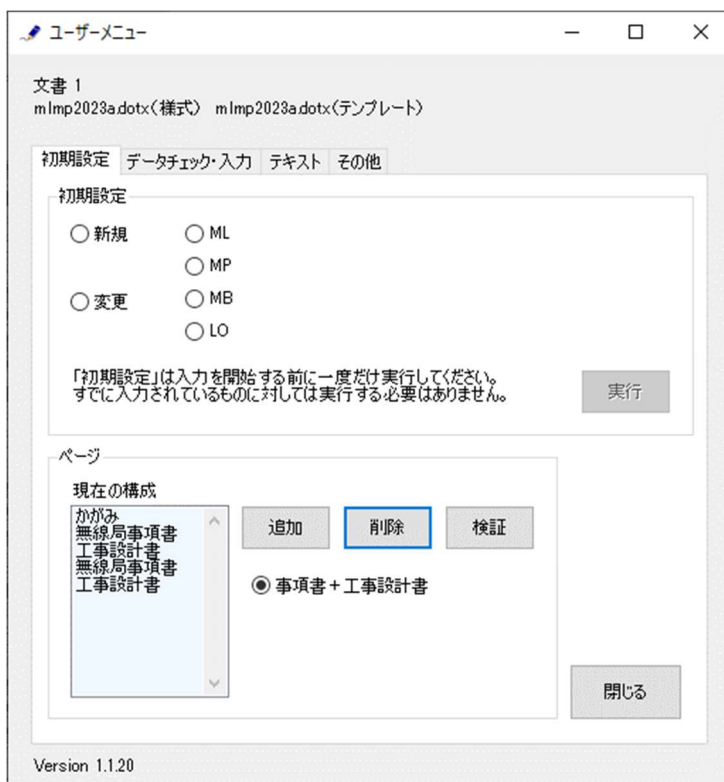


終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

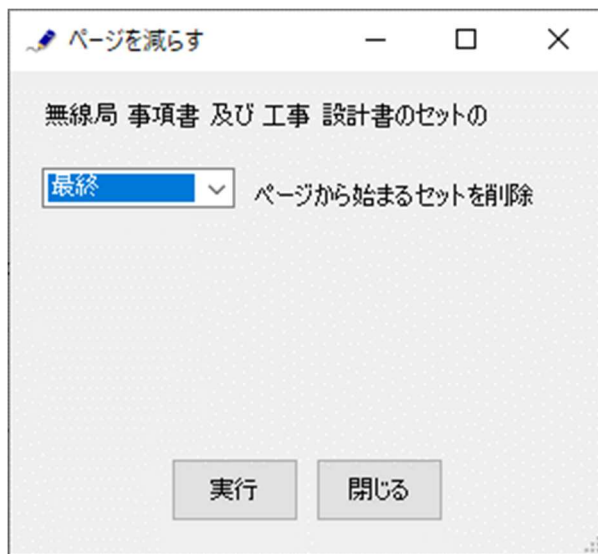


(4) 削除する場合

「削除」ボタンをクリックします。



無線局事項書を削除するページを「ページから始まるセットを削除」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。削除では、1セット分しか削除することはできません。複数のセットを削除する場合には、本操作を繰り返し実施してください。



終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



(5) 検証する

「ページ構成」が現在の Word 文書とくいちがうと正しく動作できません。ページ構成を取得しなおすときには、「検証」ボタンをクリックします。(通常はこの操作を行なう必要はありません)

ユーザーメニュー

文書 1
mlmp2023a.dotx<様式> mlmp2023a.dotx<テンプレート>

初期設定 データチェック・入力 テキスト その他

初期設定

☐ 新規 ☐ ML
☐ MP
☐ 変更 ☐ MB
☐ LO

「初期設定」は入力を開始する前に一度だけ実行してください。
すでに入力されているものに対しては実行する必要はありません。

実行

ページ

現在の構成

かがみ
無線局事項書
工事設計書
無線局事項書
工事設計書

追加 削除 検証

☒ 事項書 + 工事設計書

閉じる

Version 1.1.20

終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

メッセージ

正常に終了しました。

OK

[3] かがみの作成

mlmp2023a.dotx

無線局 指定してください

令和 年 月 日

指定してください 殿

下記、無線局の 指定してください の規定により別紙の書類を添えて申請（届）します。

1. 申請者

申請者 法人・団体・個人の別	
郵便番号	-
住所	
氏名フリガナ	
氏名	印
代表者役職	
フリガナ	
代表者氏名	

代理人	
郵便番号	-
住所	
氏名フリガナ	
氏名	印
代表者役職	
フリガナ	
代表者氏名	印

復代理人	
郵便番号	-
住所	
氏名フリガナ	
氏名	印
代表者役職	
フリガナ	
代表者氏名	印

<申請の内容に関する連絡先>

所属	フリガナ
氏名	フリガナ
電話番号	
電子メールアドレス	

2. 電波法第5条に規定する欠格事由

有

無

[かがみ]

表題	「新規」のときは「免許申請書」に、「再免許」のときは「再免許申請書」に、「変更」のときは「変更申請書（届）」にプルダウンを選択します。
表題 2	「新規」のときは「免許を受けたいので、電波法第 6 条」 「再免許」のときは「再免許を受けたいので、無線局免許手続き規則第 16 条の 2」 「変更」のときは「工事設計書等を変更したいので、電波法第 9 条第 1 項又は第 4 項」「工事設計書等を変更したので、電波法第 9 条第 2 項」「変更等の許可を受けたいので、電波法第 17 条第 1 項」「許可を要しない無線設備の軽微な変更工事をしたので、電波法第 17 条第 3 項」「周波数等の指定の変更をしたいので、電波法第 19 条」「記載事項を変更したので、電波法施行規則第 43 条第 3 項」から条件に合うものを選択します。
入力年月日	提出する年月日を入力します。

1. 申請者

「法人・団体・個人の別」で該当するものを選択します。

2. 電波法第5条に規定する欠格事由

「無」がチェックされます。「有」又はチェック無しでは申請できません。

3. 免許又は再免許に関する事項

3. 免許又は再免許に関する事項

① 無線局の種別及び局数	指定してください 局
② 識別信号	
③ 免許の番号	
④ 免許の年月日	
⑤ 免許の有効期間	
⑥ 希望する免許の有効期間	
⑦ 備考	<div> <div>5W 局 × 円 = 円</div> <div>4W 局 × 円 = 円</div> <div>1W 局 × 円 = 円</div> <div>合計 円</div> </div> <input type="checkbox"/> 手数料免除

4. 電波利用料

①電波利用料の前納

電波利用料の前納の申出の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
電波利用料の前納に係る期間	<input type="checkbox"/> 無線局の免許の有効期間まで前納します（電波法第13条第2項に規定する無線局を除く）。 <input type="checkbox"/> その他（ 年 ）

②電波利用料納入告知書送付先（法人の場合に限る。）

☐ 1の欄と同一のため記載を省略します。

住 所	都道府県－市区町村コード []
	〒 (-)
部署名	フリガナ

① 無線局の種別及び局数	「陸上移動局」(ML)、「携帯局」(MP)、「船上通信局」(MB)、「構内無線局」(LO) から選択します。局数を半角数字で入力します。
② 識別信号	識別信号には、呼出名称を入力します。識別信号が複数の場合、連続するものは「～」でつなぎ、連続しないものは「、」（全角句点）で区切ります。
③ 免許の番号	開設の場合は入力しません。変更の場合は必須です。
④ 免許の年月日	開設の場合は入力しません。変更の場合は必須です。

	再免許の場合は、再免許後の期日を入力します。 入力する場合は年月日を半角数字で「Rxx. xx. xx」のように入力します。
⑤ 免許の有効期間	開設の場合は入力しません。変更の場合は必須です。 再免許の場合は、再免許後の有効期間を入力します。
⑥ 希望する免許の有効期間	変更の場合は入力しません。増設において既免許局と終期を統一したい場合などに入力します。 入力する場合は年月日を半角数字で入力します。
⑦ 備考	新設、増設、再免許申請の場合、欠格事由「処分歴等(電波法第 5 条第 3 項)：無」をここに入力します。(必須です)

4. 電波利用料

① 電波利用料の前納	「有」「無」のどちらかをチェックします。 「有」を選択した場合は、電波利用料の前納に係る期間を入力します。
② 電波利用料納入告知書送付先	免許人宛の場合□にチェックします。免許人以外への送付を希望する場合は□にチェックせず、住所、宛先を入力します。(宛先は免許人の部署名までとし、個人名は入れないでください。申請者が「団体・個人」の場合及び変更においては入力しません) 再免許申請において現在の送付先を変更しない場合、□にチェックを入れないでください。(チェックを入れると納告先が設定されていても、免許人住所宛となってしまいます。) 変更申請では入力しても反映されません。

[4] 事項書及び工事設計書の作成

無線局 事項書 及び 工事 設計書

1 免許の番号	() 局分		
2 申請(届出)の区分	<input type="checkbox"/> 開設 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 再免許		
3 無線局の種別コード			
4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由			
5 法人団体個人の別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 個人		
6 住所	フリガナ		
	都道府県-市区町村コード []		
	郵便番号	-	電話番号
7 氏名又は名称及び代表者氏名	法人又は団体		
	フリガナ		
	コード []		
	個人又は代表者名		
	姓	フリガナ	名
8 希望する運用許容時間			
9 工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定: <input type="checkbox"/> 予備免許の日から 月 日 月目の日 <input type="checkbox"/> 予備免許の日から 日 日 日目の日		
10 運用開始の予定期日	<input type="checkbox"/> 免許の日 <input type="checkbox"/> 日付指定: <input type="checkbox"/> 予備免許の日から 月 月以内の日 <input type="checkbox"/> 免許の日から 月 月以内の日		
11 無線設備の設置場所又は常置場所	区分		
	<input type="checkbox"/> 設置場所 又は <input type="checkbox"/> 常置場所		
	住所		
	フリガナ		
	都道府県市区町村コード []		
12 移動範囲	基本コード 付加コード 備考		
13 無線局の目的コード			
14 通信事項コード			
15 通信の相手方			
16 識別信号			
17 電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力			
	MHz	MHz	MHz
	MHz	MHz	MHz
	MHz	MHz	MHz
	電力 W		
	MHz	MHz	MHz
	MHz	MHz	MHz
	MHz	MHz	MHz
	電力 W		
	MHz~	MHz	kHz 間隔
	MHz~	MHz	kHz 間隔
	MHz~	MHz	kHz 間隔
	MHz~	MHz	kHz 間隔
	電力 W		

(1) かがみに入力した申請者の情報を事項書に反映する

ユーザーメニュー

文書 1
mlmp2023a.dotx(様式) mlmp2023a.dotx(テンプレート)

初期設定 データチェック・入力 テキスト その他

データのコピー

☒ かがみの免許人の住所と名前を事項書にコピーする

☐ 事項書の1枚目の内容を2枚目以降にコピーする

実行

かがみに入力した申請者の情報を事項書に反映させることができます。申請者の「法人・団体・個人」の種別をプルダウンから選択してから、「データのコピー」フレームの「かがみの免許人の名前と住所を事項書にコピーする」をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。かがみの申請者の住所や氏名を、法人・団体・個人の種別に従って、事項書の5～7欄「申請（届出）者名等」にコピーできます。（但し、住所フリガナと電話番号は入力欄なく反映しませんのでご注意ください。）

終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

メッセージ

かがみの免許人の名前と住所を事項書にコピーしました。

OK

(2) 事項書1枚目に入力した情報を2枚目以降に反映する

ユーザーメニュー

文書 1
mlmp2023a.dotx(様式) mlmp2023a.dotx(テンプレート)

初期設定 データチェック・入力 テキスト その他

データのコピー

☐ かがみの免許人の住所と名前を事項書にコピーする

☒ 事項書の1枚目の内容を2枚目以降にコピーする

実行

複数の事項書を入力するときは、最初に事項書の1枚目に入力してから、「データのコピー」フレームの「事項書の1枚目の内容を2枚目以降にコピーする」をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。

次のダイアログボックスが表示されます。コピーしたい項目をチェックします。「レ」 ボタンをクリックすると「すべてのチェックを解除」「すべてをチェック」が繰り返されます。

データコピー - 無線局事項書1

コピーする項目

<input checked="" type="checkbox"/> 申請の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 最初の免許の年月日
<input checked="" type="checkbox"/> 無線局の種別コード	<input checked="" type="checkbox"/> 運用開始の予定期日
<input type="checkbox"/> 免許の番号	<input checked="" type="checkbox"/> 無線設備の設置場所又は常置場所
<input type="checkbox"/> 無線局の数	<input checked="" type="checkbox"/> 移動範囲
<input checked="" type="checkbox"/> 欠格事由	<input checked="" type="checkbox"/> 無線局の目的コード
<input checked="" type="checkbox"/> 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	<input checked="" type="checkbox"/> 通信事項コード
<input checked="" type="checkbox"/> 申請(届出)者名等	<input type="checkbox"/> 識別信号
<input checked="" type="checkbox"/> 希望する運用許容期間	<input checked="" type="checkbox"/> 通信の相手方
<input checked="" type="checkbox"/> 工事落成の予定期間	<input type="checkbox"/> 電波の型式・周波数・電力
<input checked="" type="checkbox"/> 免許の年月日	<input checked="" type="checkbox"/> 工事設計書
<input checked="" type="checkbox"/> 免許の有効期間	<input checked="" type="checkbox"/> 備考
<input checked="" type="checkbox"/> 希望する免許の有効期間	<input checked="" type="checkbox"/> 変更前識別信号・識別符号

☐

「実行」 ボタンをクリックすると指定された項目がコピーされます。

終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」 ボタンをクリックします。

メッセージ

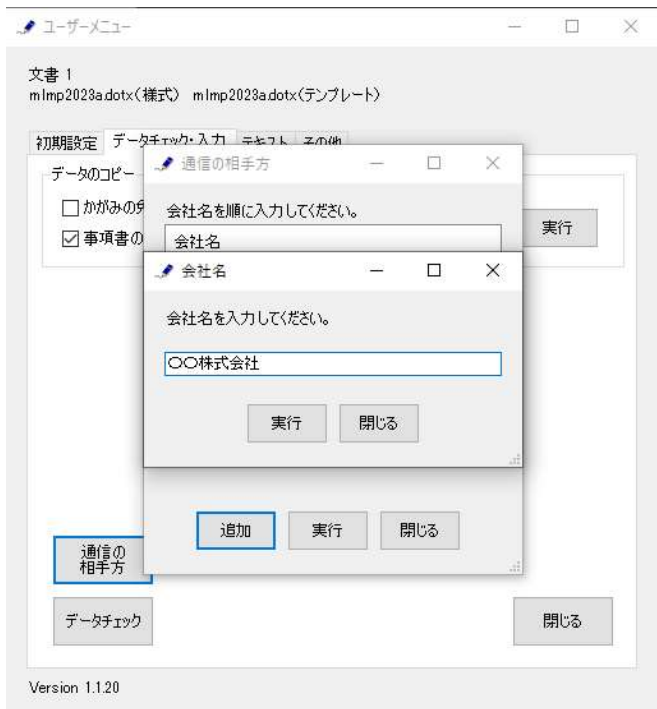
無線局事項書 1枚目の内容を2枚目以降にコピーしました。

(3) 事項書の入力

1 欄 免許の番号	「開移第 12345 号～開移第 12347 号」のように、免許番号が連続している場合は「～」でつなぎ、連続しない免許番号は事項書を分割し別に作成します。数字は半角で入力します。
2 欄 申請(届出)の区分	「開設」か「変更」か「再免許」をチェックします。
3 欄 無線局の種別コード	「ML」(陸上移動局)、「MP」(携帯局)、「MB」(船上通信局)、「LO」(構内無線局)から選択します。
4 欄 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	<p>先頭のプルダウンは必須です。変更の場合で変更事項が複数存在する場合は2番目以降から該当するものを選択します。説明しきれない場合は、最後のフリー入力欄に入力します。</p> <p>(注) 消防用無線の、アナログからデジタル専用機への周波数移行は、デジタル機の免許申請となります。</p> <p>また、アナログ機からデュアル機への無線設備変更の場合は変更申請となり、「電波型式」、「周波数」、の変更が必ず発生します。また「空中線電力」の変更を伴う場合もありますので、該当する変更はすべて選択してください。選択漏れがある場合は、不備となりますのでご注意ください。</p>
5 欄 法人団体個人の別	「法人」、「団体」、「個人」の中で該当するものにチェックを入れます。

6 欄 住所	住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。
	都道府県市区町村コード	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。 都道府県一市区町村コードは、(財) 地方自治情報センター (LASDEC) https://www.j-lis.go.jp/spd/code-address/jititai-code.html が定める団体コード 6 ケタの内の上位 5 桁です。
	住所	住所を全角で入力します。都道府県から入力し、番地などを つなげるときは「ー」（全角ダッシュ）を使います。〇〇ビル 〇階（〇F とせず「階」と入力）は登記されている場合のみ 入力します。住所とビル名との間には全角スペースを入れて ください。
	郵便番号	半角数字で「xxx-xxxx」形式で入力します。
	電話番号	数字とハイフンで電話番号を入力します。(数字のみでも可)
7 欄 氏名又は名称及び 代表者氏名	法人又は団体フリガナ	申請者の名称フリガナを全角で入力します。
	法人又は団体名	申請者の名称を全角で入力します。
	コード	
	個人又は代表者名の姓 フリガナ	申請者の姓のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の名 フリガナ	申請者の名のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の姓	申請者の姓を全角で入力します。
	個人又は代表者名の名	申請者の名を全角で入力します。
8 欄 希望する運用許容 時間	入力する必要はありません。入力する場合は「常時」と入力してください。	
9 欄 工事落成の予定期 日	落成検査不要の場合は、入力する必要はありません。	
10 欄 運用開始の予定 期日	入力する必要はありません。入力する場合は「免許の日」をチェックします。	
11 欄 無線設備の設置 場所又は常置場所	区分	「設置場所」か「常置場所」のどちらかをチェックします。
	住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。
	都道府県市区町村コード	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。
	住所	住所を全角で入力します。

12 欄 移動範囲	<p>上下段があります。基本コードはアルファベットのコードをプルダウンから選択するか、県を表す数字コードをフリー入力欄に入力します。</p> <p>※構内無線（LO）を設定した場合、移動範囲と付加コードは入力しません。（入力するとエラーになります。）</p> <table border="1"> <tr><td>A</td><td>関東総合通信局管内</td></tr> <tr><td>B</td><td>信越総合通信局管内</td></tr> <tr><td>C</td><td>東海総合通信局管内</td></tr> <tr><td>D</td><td>北陸総合通信局管内</td></tr> <tr><td>E</td><td>近畿総合通信局管内</td></tr> <tr><td>F</td><td>中国総合通信局管内</td></tr> <tr><td>G</td><td>四国総合通信局管内</td></tr> <tr><td>H</td><td>九州総合通信局管内</td></tr> <tr><td>I</td><td>東北総合通信局管内</td></tr> <tr><td>J</td><td>北海道総合通信局管内</td></tr> <tr><td>O</td><td>沖縄総合通信局管内</td></tr> <tr><td>N</td><td>全国</td></tr> <tr><td>M</td><td>通信の相手方の無線ゾーン内</td></tr> <tr><td>P</td><td>常置場所のある市区町村</td></tr> <tr><td>Q</td><td>当該事業所の事業区域内</td></tr> <tr><td>R</td><td>免許人の業務区域内</td></tr> <tr><td>T</td><td>免許人及び業務委託先の事業者の業務区域内</td></tr> <tr><td>Y</td><td>構内</td></tr> <tr><td>S</td><td>免許人の業務区域内及び応援協定等の地域</td></tr> <tr><td>U</td><td>全国及び日本周辺海域</td></tr> </table> <p>付加コードもアルファベットのコードをプルダウンから選択します。</p> <table border="1"> <tr><td>/</td><td>、その周辺</td></tr> <tr><td>V</td><td>、その周辺、上空</td></tr> <tr><td>S</td><td>、その上空</td></tr> <tr><td>P</td><td>、周辺海域</td></tr> <tr><td>N</td><td>、周辺海域、その上空</td></tr> <tr><td>W</td><td>、沿岸水域</td></tr> <tr><td>R</td><td>、沿岸水域、その上空</td></tr> </table>		A	関東総合通信局管内	B	信越総合通信局管内	C	東海総合通信局管内	D	北陸総合通信局管内	E	近畿総合通信局管内	F	中国総合通信局管内	G	四国総合通信局管内	H	九州総合通信局管内	I	東北総合通信局管内	J	北海道総合通信局管内	O	沖縄総合通信局管内	N	全国	M	通信の相手方の無線ゾーン内	P	常置場所のある市区町村	Q	当該事業所の事業区域内	R	免許人の業務区域内	T	免許人及び業務委託先の事業者の業務区域内	Y	構内	S	免許人の業務区域内及び応援協定等の地域	U	全国及び日本周辺海域	/	、その周辺	V	、その周辺、上空	S	、その上空	P	、周辺海域	N	、周辺海域、その上空	W	、沿岸水域	R	、沿岸水域、その上空
A	関東総合通信局管内																																																							
B	信越総合通信局管内																																																							
C	東海総合通信局管内																																																							
D	北陸総合通信局管内																																																							
E	近畿総合通信局管内																																																							
F	中国総合通信局管内																																																							
G	四国総合通信局管内																																																							
H	九州総合通信局管内																																																							
I	東北総合通信局管内																																																							
J	北海道総合通信局管内																																																							
O	沖縄総合通信局管内																																																							
N	全国																																																							
M	通信の相手方の無線ゾーン内																																																							
P	常置場所のある市区町村																																																							
Q	当該事業所の事業区域内																																																							
R	免許人の業務区域内																																																							
T	免許人及び業務委託先の事業者の業務区域内																																																							
Y	構内																																																							
S	免許人の業務区域内及び応援協定等の地域																																																							
U	全国及び日本周辺海域																																																							
/	、その周辺																																																							
V	、その周辺、上空																																																							
S	、その上空																																																							
P	、周辺海域																																																							
N	、周辺海域、その上空																																																							
W	、沿岸水域																																																							
R	、沿岸水域、その上空																																																							
13 欄 無線局の目的コード	プルダウン フリー入力	「GEN」「PUB」「EXP」から選択します。 プルダウンに該当するものがない場合、半角英大文字で入力します。																																																						
14 欄 通信事項コード	プルダウン 上段 フリー入力 上段 プルダウン	「AAF」「AGG」「CWR」「DAB」「DAI」「EDC」「EDT」「EPA」「FDA」「GAS」「GEN」「HBW」「HSM」「HSP」「HSW」「LAO」「LCA」「LCI」から選択できます。 プルダウンに該当するものがない場合、半角英大文字で入力します。 「LCK」「LCL」「LCM」「LCT」「LGO」「MAW」「MCS」「PTG」																																																						

	<table><tr><td>下段</td><td>「RDA」「RDK」「RDR」「RXY」「RXW」「SPA」「SRD」「WRU」から選択できます・</td></tr><tr><td>フリー入力 下段</td><td>プルダウンに該当するものがない場合、半角英大文字で入力します。</td></tr></table>	下段	「RDA」「RDK」「RDR」「RXY」「RXW」「SPA」「SRD」「WRU」から選択できます・	フリー入力 下段	プルダウンに該当するものがない場合、半角英大文字で入力します。
下段	「RDA」「RDK」「RDR」「RXY」「RXW」「SPA」「SRD」「WRU」から選択できます・				
フリー入力 下段	プルダウンに該当するものがない場合、半角英大文字で入力します。				
15 欄 通信の相手方	<p>上下 2 段にあるプルダウンから選択します。上下双方を選択したときは上下連続したことになります。プルダウンにない場合はフリー入力欄に入力します。プルダウンとフリー入力欄は別々に入力したことになり連続はしません。</p> <p>業務の相互応援協定をした異免許人を通信の相手方とする場合は、フリー入力欄に「〇〇所属の陸上移動局」などを入力します。</p> <p>メニューの「通信の相手方」ボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。</p> <div></div> <p>「免許人及び●●所属の陸上移動局」「免許人、●●及び●●所属の陸上移動局」のように入力するとき「追加」ボタンで入力し、「実行」ボタンをクリックするとすべての事項書の「通信の相手方」欄に入力されます。</p>				
16 欄 識別信号	<p>呼出名称を「むせんき 1」のように数字部だけ半角数字で入力します。連続するものは「～」でつないで入力します。「むせんき 1～むせんき 3」でも「むせんき 1～3」でもかまいません。</p>				
17 欄 電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力	<p>・上段、中段、下段の 3 つがあります。いずれの段も、占有周波数帯幅プルダウン、電波型式プルダウン、電波型式フリー入力、周波数、電力プルダウン、電力フリー入力の順番になっています。</p> <p>・上段</p> <table><tr><td>占有周波数帯幅</td><td>「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「11K5」から選択します。</td></tr><tr><td>電波型式</td><td>「F2D」「F3E」「F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「G1D」「G1E」「G1D G1E」「G1C G1D G1E」「F7W」から選択します。</td></tr></table>	占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「11K5」から選択します。	電波型式	「F2D」「F3E」「F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「G1D」「G1E」「G1D G1E」「G1C G1D G1E」「F7W」から選択します。
占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「11K5」から選択します。				
電波型式	「F2D」「F3E」「F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「G1D」「G1E」「G1D G1E」「G1C G1D G1E」「F7W」から選択します。				

電波型式フリー入力	電波型式プルダウンにない電波型式の場合、半角英数字で入力します。
周波数（15 個）	周波数を半角数字で入力します。
電力プルダウン	「5」「4」「2」「1」「50」「25」「10」「3」から選択します。
電力フリー入力	上記プルダウンにない電力は、半角数字で入力します。

・中段

占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「11K5」から選択します。
電波型式	「F2D」「F3E」「F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「G1D」「G1E」「G1D G1E」「G1C G1D G1E」「F7W」から選択します。
電波型式フリー入力	電波型式プルダウンにない電波型式の場合、半角英数字で入力します。
周波数（15 個）	周波数を半角数字で入力します。
周波数フリー入力	半角英数字で入力します。
電力プルダウン	「5」「4」「2」「1」「50」「25」「10」「3」から選択します。
電力フリー入力	上記プルダウンにない電力は、半角数字で入力します。

・下段

占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「11K5」から選択します。
電波型式	「F2D」「F3E」「F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「G1D」「G1E」「G1D G1E」「G1C G1D G1E」「F7W」から選択します。
電波型式フリー入力	電波型式プルダウンにない電波型式の場合、半角英数字で入力します。
周波数	（周波数範囲（範囲開始～範囲終了）＋周波数間隔＋波数） × 4 段 いずれも半角数字で入力します。
電力プルダウン	「5」「4」「2」「1」「50」「25」「10」「3」から選択します。
電力フリー入力	上記プルダウンにない電力は、半角数字で入力します。

・周波数によって、電波型式が異なる場合は、1 段目と 2 段目に電波型式ごとに
入力してください。

・ポイント周波数欄が 1 段目 15 波、2 段目 15 波あります。1 段目から入力してください。

・ポイント周波数が 1 段目 15 波、2 段目 15 波以上になる場合は、不足する周波数を 2 段目の周波数フリーに入力します。

・バンド周波数は 3 段目のバンドに入力します。

（注）電波型式は、技適認証の条件ではなく、実際に使用するものを入力します。
また、F1D（デジタルの場合）や F2D（アナログの場合）を希望するときは、
24 欄付属装置にもデータ伝送付加装置のコード「D」を選択してください。

(4) 工事設計書の入力

工事設計書（検定合格機器又は適合表示無線設備を使用する場合に限る。）

18 送信機				
ATIS番号				
検定番号				
技術基準適合証明番号		A D		
製造番号				
19 空中線系				
空中線型式等			高さ (m)	利得 (dBi)
基本コード	付加コード	偏波面コード		
20 附属装置				
コード	補足事項		コード	補足事項
21 その他の工事設計		<input checked="" type="checkbox"/> 電波法第3章に規定する条件に合致する。		
22 備考		変更前（識別信号）		

18 欄 送信機	<ul style="list-style-type: none">・ ATIS 番号は簡易無線（CR）用のもので、入力しません。・ 検定番号は、古い技術基準制度で製造されたものであり、「F」で始まる番号です。・ 適合表示無線設備の番号欄には、技術基準適合証明番号か工事設計認証番号を入力します。・ A にはアナログ機の技術基準適合証明番号または工事設計認証番号を入力します。・ D にはデジタルの技術基準適合証明番号または工事設計認証番号を入力します。		
19 欄 空中線	<ul style="list-style-type: none">・ 空中線型式等及び利得（dBi）欄は、利得 2.14 dBi を超える空中線を使用する場合に限り入力します。・ 「高さ（m）」は、入力しないでください。		
20 欄 附属装置	左上	トーン SQ のコード「S」を選択し、補足事項にトーン周波数を入力します。（数字のみを入力）	
	左中	データ伝送付加装置のコード「D」を選択します。補足事項は入力しません。 ※GPS を入力する際は、総務省電子申請届出システムで手入力	
	左下	自由に入力できます。	
	右上	デジタルコード SQ のコード「S」を選択し、補足事項に SQ 番号を入力します。	
	右中	自由に入力できます。	
	右下	自由に入力できます。	
21 欄 その他の工事設計	「電波法第 3 章に規定する条件に合致する。」をチェックします。		
22 欄 備考	1 番目フリー入力	自由に入力することができます。全角文字で入力してください。	
	2 番目プルダウン	「旧スプリアス」「新スプリアス」から選択することができます。	
	3 番目プルダウン	「工事設計書には変更がないので記載を省略」を選択す	

	ることができます。
4 番目プルダウン	「この周波数の使用は広域応援又は救援時に限る。」を選択することができます。
5 番目プルダウン	「(注)この周波数の使用は、他の防災関係機関所属の無線局と通信を行う場合に限る。」を選択することができます。

(注1) 新スプリアス又は旧スプリアスは入力が必須です。

(注2) 「工事設計書には変更がないので記載を省略」を選択した場合は、工事設計書の入力があっても無視されます。また新旧スプリアスの入力は不要となり入力されていても無視されます。

変更前の識別信号	識別信号の変更の場合には、変更前の識別信号を入力してください。
----------	---------------------------------

識別信号の変更の場合には、かがみに（旧）識別信号を入力し、事項書の 22 備考の変更前の識別信号欄にも（旧）識別信号を入力し、事項書の 16 識別信号欄には（新）識別信号を入力してください。

[5] データチェック

かがみと事項書の入力が完了したら、データチェックを実行してください。

入力ミス自動的にチェックし、ミスがあればメッセージが出ます。

[エラー] は修正が必要です。 修正しないと先に進めません。

[警告] は確認のためのものです。修正等の必要ない場合もあります。先に進めることができます。

※データを修正したときは「クリア」をクリックし、再度データチェックを実行してください。

データチェックが完了したら、名前を付けて保存し、全国陸上無線協会へのメールに保存した Word 文書を添付してお送りください。